

だより 議会

発行/秩父別町議会
編集/町議会広報特別委員会
TEL/0164-33-2111
(議会事務局 内線25・26)



平成30年第2回定例会 6月14日

定住自立圏形成協定を締結

平成30年第2回定例会が6月14日開催され、承認1件、報告2件、議案6件を審議し、いずれも原案どおり可決しました。

また、藤岡議員、大野議員が一般質問を行いました。なお、提出された議案の内容は、条例の改正2件、土地の無償貸付1件、定住自立圏形成協定の締結について1件、補正予算2件です。

◆条例の改正

介護保険法施行規則の改正による条例の一部が改正されました。
国民健康保険の新制度移行に伴い、秩父別町後期高齢者医療に関する条例が改正されました。

◆土地の無償貸付

旭C団地の跡地を、賃貸共同住宅用敷地として貸し付けることとしました。

◆協定の締結について

深川市との間において、

定住自立圏形成協定を締結することを議決しました。

◆補正予算

平成30年度一般会計は4421万円を追加し、総額28億8254万円となりました。

歳出の主なものは、定住促進賃貸住宅建設事業補助金2400万円、診療所業務委託収益補償金903万円、町営住宅給湯設備設置117万円、ベルパークちっぷべつ屋外遊戯場管理委託320万円などです。

◆承認案件

専決処分された平成29年度一般会計補正予算を承認しました。

◆報告案件

平成29年度一般会計繰越明許費の繰越した経費の報告がありました。

また、町が出資する秩父別振興公社の平成29年度分の事業報告がありました。



一
般
質
問

(質問と答弁の内容を要約してお知らせします)



【藤岡議員】

本町では、毎年10戸前後の方が後継者不在や高齢化のために離農しております。農業を基盤とする本町においては、地域経済の衰退にもつながる大きな要因となっております。

国では、この深刻な後継者不足を解消するために、

様々な支援策がとられています。

しかしながら、農業人口の増加には至っていないのが現状です。

国内では、ここ数年これまでの政策に加えて「スマート農業」が注目されています。

スマート農業とは、ドローンやロボットなどの「IT技術」を農業に導入することで、農作物の品質や生産効率を上げる農業のことです。

最新技術を導入することによって、重労働の軽減や

人手不足を少しでも解消することに繋がれば、これまでの農業に対するネガティブなイメージを払拭することもできます。

現に町内でも、ドローンや自動操舵の田植え機、トラクターなどが徐々に導入されつつありますが、日進月歩の技術革新の中で足踏みをされている方がほとんどです。

そこで、これらに関する情報発信とIT技術の導入をJAなど農業関連団体と連携をとりながら推進していただき、年齢に関わらず意欲を持って農業が続けられる環境をつくることが必要と考えますが、町長の考えを伺います。

【神数町長】

平成30年4月1日現在の農家戸数は147戸であり、平成20年度と比較して10年間で44戸減少しており高齢化と担い手不足が大きな課題となっております。

また、60歳以上で後継者のいない農家は42戸で、仮にこの方々が70歳で離農すると想定した場合、10年後

は100戸前後になると予想され、今後更なる規模拡大と、労働力軽減対策等が求められるものと考えております。

これまで本町では、国や道が実施する農地基盤整備や経営体育成支援事業を活用して農業機械等の導入を行うなど、生産基盤の維持・拡充を図ってまいりました。

新規就農対策につきましても、町独自に「農業後継者奨学金貸付事業」や「産後継者新規就業支援事業」の創設などの施策を講じてきており、過去5年間において12名の方が後継者



として就農しております。本年度からは、施設園芸作物の生産継続と新規就農者の新たな作物への生産意欲喚起のため、北いぶき農業協同組合とともに施設園芸ハウス補助金制度を創設し、農業振興に努めているところ です。

また、将来の農家戸数減少を見据えて、経営面積の大規模化と効率的な経営を行うために法人化に向けた「農地所有適格法人設立支援事業」を実施してきました。

農家戸数減少に伴い、個々の経営規模が拡大し、労働力不足が大きな課題となってくることから、農業効率化と労働負担の軽減に重要な手段として「スマート農業」は全国的に広まっていく技術であると認識しております。

しかし、機器の汎用性や規格統一がされていない、また、価格が高価であるなど、導入に対しての課題も多いのが現状であります。今後農業者が意欲をもって農業を続けられるように農業関連団体と連携を図り、取り組んでまいります。

問
スマート農業の推進で農業人口の減少対策を

答
今後の動向を注視し、意欲をもって農業を続けられるよう取り組みます。

問

教育長として本町の学校教育に関する考え方は

答

自ら学ぶことに興味や関心を持ち、自分の考えを深めていけるような授業を実践していきたい



【大野議員】

このたび、本町では学校教育のプロパーであり、かつ校長経験者を教育長に迎えました。

本町の子供たちに対する学校教育の質的向上が図れるのではないかと大いに期待しております。

私は、子供に対する教育は本町の未来への有効な投資と考えており、本町発展のためにも学校教育の充実に願っております。

学校教育に関しては、今年度の教育行政執行方針において縷々述べておりますが、具体的に何をしようとしているのか、今ひとつ理解したいところがあります。そこで、教育行政の責任者として、本町の学校教育に関して、どのような視点で、どのような教育を目標そうとしているのか、考えているところをお聞かせ願います。

【小林教育長】

本町は現在、人口減少や少子・高齢化が全国を上回るスピードで進行し、他方でグローバル化や高度情報化などの急速な社会変化にも直面しております。この

ように変化の激しい時代にあつて、本町が将来にわたつて発展していくためには、地域を支える人材の育成を担う教育の役割が重要になります。

こうした中、新学習指導要領では、時代の変化に対応し、小学校の英語教育の早期化・教科化や、道徳の教科化等が新たに盛り込まれました。

また、その前文には、子供たち一人ひとりが「豊かな人生を切り開き、持続的な社会の創り手となることができるようにする」と記



されており、このことを実現するためには、子供が学ぶことに興味や関心を持ち、交流しながら自分の考えを深めていくという授業の実践や学習の確実な定着を図るため、学習の規律や進め方などを決めて授業を行う、いわゆる「秩父別教育スタンダード」の確立といった授業改善が重要になります。

更に、子供たちが認定こども園、小学校、中学校を通して一貫性のある教育を相互に協力しあつて推進することが重要であることから、まずは外国語教育の充実という視点から、中学校の英語教諭による小学校への「乗り入れ授業」を継続して実施し、外国語指導助手の活用範囲を拡充するなどして、幼・小・中の切れ目のない連携強化を図っていきたくと考えております。

いつの時代であっても、子供たちは未来の宝であり、社会の宝であります。その子供たちが心に描いているかけがえのない夢や希望に向かって、自らが展

を抱き、健やかに生きることを町民の誰もが願っております。

今後とも、本町の子供たちは町民の手で育んでいくという思いで、学校・保護者のもとより、関係団体、地域の方々とこれまで以上に連携を図りながら、本町教育の推進に全力で取り組んでまいります。

**所管事務調査の
申し出**

議会閉会中の所管事務調査について、総務経済常任委員会及び議会運営委員会から、次のとおり申し出がありました。

- 総務経済常任委員会
・産業課所管指定管理の状況について
- ・教育委員会所管指定管理の状況について
- 議会運営委員会
次期町議会（定例会までの臨時会を含む）の運営について

総務経済常任委員会

所管事務調査報告

本委員会は、住民課所管の「国民健康保険事業の概要」と企画課所管の「指定管理の状況」について担当者から説明を受け、質疑応答と現地調査を実施しました。

○国民健康保険事業の概要について

平成30年4月から財政運営の責任主体が都道府県とする制度に変更となった。今後の運営手法については、国などの通知に基づき随時北海道と市町村間で協議・検討を行い決定していくこととなる。

国民健康保険制度は「年齢構成が高く、医療費水準が高い」など構造的な課題を抱えている。

こうした中、この制度を安定化させることを目的に2つの改革が実施された。「財政支援の拡充・運営のあり方の見直し」では、市

町村単位から都道府県単位での運営に変更し、市町村が抱える医療費増加リスクを全道で分散化させていくこととしている。

市町村が窓口として行う各種申請などは今までどおりで、財政運営が都道府県単位となるため、市町村は加入者の皆さんの保険料を毎年度北海道に納付金として納める。保険料は北海道から示される国保事業費納付金等を参考に各市町村が保険料率を決定し賦課することになる。

北海道に納める納付金は、市町村における加入者の所得や医療費水準により増減する仕組みとなっている。納付金制度の導入により急激に保険料が上がらないようにするため、激変緩和措置を実施し、緩やかに公平な保険料負担となるよう進めることとしている。

本町においては、予防・

健康づくりを進めることで、医療費の抑制につながることから、生活習慣病対策をはじめとする、人間ドック・住民健診・予防接種など一層の受診率の向上に努められ、将来の保険料の減少となるよう願うものである。

○企画課所管の指定管理施設の状況について

企画課所管の指定管理施設は、温泉・農産物加工センター・交流体験農園の3ヶ所である。いずれも秩父別振興公社が施設の管理運営を行っている。



温泉については、平成19年から指定管理が始まった。施設開設から28年経つが、入浴施設の改修や建物の維持補修に努め、北空知の中でも入館者・宿泊等において上位に立っていることは喜ばしい限りである。

今年度においては、送迎用中型バスの購入を決定したが、既存の老朽化したバスの更新等を計画的に行い、適正な車両の維持管理に努め、送迎のお客様に気持ち良く乗って頂くよう、指導管理をお願いしたい。

なお、2号源泉についても早期に整備工事が終了し利用できるよう望むものである。

農産物加工センターにおいては、今年度「貫流ボイラーの改修工事」が予定されている。開設が平成7年で指定管理は平成21年から行っている。

利用状況においては、難しい所もあると思うが地場産品を有効活用した事業など、利用者の増加に努められるよう望むものである。

交流体験農園について

は、平成17、18年度に併せて20棟オープンし、指定管理については平成21年から行っている。

滞在型市民農園においては、長く利用していただきそのまま住民になられた方もおり、移住定住に寄与しているところがあるのは喜ばしい限りである。

日帰り型の農園については、利用率が低いので利用増に向けた取り組みを望むものである。

屋外遊戯施設の工事進捗状況については順調に進んでおり、工期内に完了し有意義な施設となるよう望むものである。

臨時会

◆第3回臨時会

5月15日、第3回町議会臨時会が招集され、秩父別町税条例の一部改正と、ベルパークちっぴべつ屋外遊戯場建設工事請負契約の変更について、原案どおり可決しました。

◎北空知議会議長連絡
協議会議員研修会開催
7月18日 深川市

北空知議会議員研修会が、7月18日、深川市で開催され、議長をはじめ全議員が出席しました。

午前中に行った、北空知1市4町の議会対抗パークゴルフ大会では、秩父別町議会チームが2位以下に大差をつけて優勝しました。また、個人成績では、寺迫議員が優勝したほか、上



位5位以内に4人が入るなど本町議会チームの健闘が光りました。

午後からは、旧音江中学校の校舎を合宿所に改修して活用している「エフパシオ」を視察し、同所において研修会が開催されました。研修会では、札幌大学等で非常勤講師をつとめる小賀聡氏が、「ワクワクを創り出す21世紀に必要な力」と題して講演を行いました。

札幌・宮の森地区で子供会や町内会の役員をしている講師の話は、子供目線で楽しさを創り出すことの重要性や情報通信技術の活用で若い世代の人にも行事に参加してもらうことの重要性を訴えるなど、まちづくりを進める上で大変参考になりました。

◎空知町村議会議長会
議員研修会開催
7月20日 由仁町

空知議会議員研修会が、7月20日、由仁町文化交流館「ふれーる」に、管内14町議会の議員や町職員等、

約180人を集めて開催されました。

研修会では、全国で地方自治関連の講演を行っている、前佐賀県武雄市長樋渡啓祐氏が「これからの地方行政について」、(サブタイトル)「これからの公共施設



のあり方」と題して講演がありました。

講師は、当時全国最年少の36歳で生まれ故郷である武雄市の市長に就任し、ドラマ「佐賀のがばいばあちゃん」の誘致や多額の赤字で悩む市立病院の民間移譲、年間利用者100万人を超える図書館などを実現させ、マスコミ等で有名になりました。

講演では、市長就任当時の武雄市図書館の現状に触れ、休館日を3分の1に減らして開館時間を長くしたことや、全国展開する蔦屋書店、スターバックスコーヒーなど民間企業の営業スペースを図書館内に導入したことにより年間利用者を年々増やしたこと、更には、図書館の指定管理者の選定方法や委託管理料の設定基準・考え方に関する話が印象に残りました。

また、市長当時、議会と対立してリコールされたことや何度も行政訴訟をおこなわれたことなどをテンポ良く、ユーモラスに解説するなど、大変勉強になりました。

議会を傍聴して
みませんか

第3回町議会定例会は、9月上旬の予定です。当日の受付で傍聴できますので、お気軽にお越しください。

お問い合わせ

秩父別町議会事務局
TEL 3312111
(内線25)



みんなの声

地域おこし協力隊
橋本 直哉 さん



岡山の大学を卒業し5月から秩父別町で生活をはじめ2ヶ月が経ちました。私には毎日が短く感じられます。理由は毎日が新しい体験だからだと思います。

秩父別に来て最初に気付いたことは、まず空の青が深い色をしていたこと、そして雪がまだ残っていたことです。私は豪雪地帯を経験したことがないので、とても珍しく思いました。

私は今まで一人暮らしをしたことがなく、どのように秩父別町で暮らしていくか、楽しみ半分、不安半分という気持ちでした。

しかし農業体験などを経て秩父別の人の温かみを知ることができ、暮らしていく楽しみが勝るようになりました。

農業体験では田植えや、カボチャ、プロッ

コリーの定植を体験させて頂き、農家さんの作物に対する熱い思いを知ることが出来ました。

私は子供のころから、お米が好きだったので、秩父別の美味しいお米を食べるたびに元気が湧き出ます。そしてその元気が農家さんたちの熱意から頂いているものだと思うと、秩父別の役に立てるよう頑張ろうと思うようになりました。

今後はよりたくさん農家さんのところに農作業を体験しに行こうと思っています。そして秩父別で行われるイベントにはどんどん関わっていこうと思っています。

これから秩父別町でどのように役に立ち、何をして暮らしていくかなど、まだまだ先は長いので、ゆっくりと町に馴染みながら頑張っていきたいです。

議会の主な動き

24	2019	18	13	12	11	10	9	5	4	2	7	25	23	14	12	6	28	20	15	12	1	5	
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	月	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日
広報特別委員会	秩父別消防演習	空知町村議会議長会議員研修会	北空知議会議長連絡協議会	妹背牛町議会行政視察来町	北空知議会議長連絡協議会	中央要望実行運動打合せ会議	広報特別委員会	拓魂祭	まち・ひと・しごと創生会議	セレモニー	屋外遊戯施設オープンニング	綾川町議会行政視察来町	占冠村議会行政視察来町	北空知JR留萌本線問題検討会議	50周年記念式典・祝賀会	秩父別ライオンズクラブ認証	広報特別委員会	第2回町議会定例会	全員協議会	北海道町村議会議長定期総会	議会運営委員会	全員協議会	通水式

編集後記

今年も自然が猛威をふるっています。ニュースで小さな子が亡くなったのを見ました。胸がつかれる思いがします。被災者の方には、心よりお見舞い申し上げます。屋外遊戯場キュービックコネクションがオープンしました。順調な滑り出しになったのではないかと思います。秩父別は長く農業が基幹産業として発展してきましたが、農業だけではなく、観光産業を伸ばして、発展させる方向も、見えてきたのではないのでしょうか。土曜、日曜は大変なにごわいです。チャンスととらえて、色々チャレンジしてほしいです。ちっくるやゆう&ゆ、キャンプ場と併せて相乗効果で、さらに来町者の増加を期待しています。秩父別の子供や、ちっくるに遊びに来てくれる子供たちには、元気いっぱい大きく育ってほしいものです。

(岡崎)